

特集

わざ言語がとらえなおす
実践と教育

科学的言語に向けた「わざ言語」という問い 生田久美子
 わざ言語が看護教育にもたらすインパクト 前川幸子
 看護学生が学ぶ 時間という「わざ」 原田千鶴
 達人の「わざ言語」をもとめて 奥野衆英／前川幸子

【連載】

リズムとからだ「うまくいく」と「うまくいかない」の謎・3
 伊藤亜紗
 すべて、転んで、立ち上がるために 看護職生涯発達学から・3
 佐藤紀子
 看護教育、継往開来！・3 江藤裕之・林千冬
 優れた“わざ”をどう伝えるか
 ——技術の「背後にある意味」を教える・6 阿保順子
 「配慮が必要な学生」の学びにつなげる対応——臨地実習における
 教育上の調整を考える・6 松岡千代
 学生なら誰でも知っている 看護コトバのダイバーシティ・6
 木村映里
 東西南北！ 学生募集旅日誌・12(最終回) 高塚由香里

編集後記

●高校時代は暗記は得意でした。ですので、覚えて答える試験ではよい成績を修めることができていました。ところが大学では、記憶しなくてはならないことが多いのに加えて、今というアクティブラーニング的な講義が中心だったため、記憶した知識をいかに「使うか」が求められ、ただ覚えるのが得意という能力などはたいして役に立たないことを思い知らされたのでした。●解剖学に限らず、看護教育においては記憶しなくてはならないことは膨大なもので、学生は記憶にばかりエネルギーを割きがちです。知識量を減らすわけにいかない以上、いかに学生の記憶へのモチベーションを上げるかに皆さん力を注いでいることと思います。そこに、「覚えたことを使う」経験を増やせば、知識はより定着するのではないのでしょうか。さらには、「覚えるのとどれだけ得か」という釣りも、ありかもしれません。……大野

●幼い頃、国勢図会に掲載されている国別貿易額やゲーム「信長の野望」の武将の能力パラメータ、歴代年間2塁打数のランキングなど、妙なデータをたくさん覚えていました。とはいいつつ、それは覚えようとして覚えたわけではなく、(何がおもしろいのか)じっと眺め続けた結果で、こちらの覚えたいという欲望や必要に迫られた暗記はひたすらに苦手。私にとって記憶は自分の思いと裏腹に懐いたり離れたりする猫のように感じます。●伊藤亜紗さんの連載「リズムとからだ」では、吃音をボーカロイドなどに用いられている「モーフィング」で考察するという展開になっています。さいきん、「ボカロで覚える」中学生向け学習参考書がヒットしていますが、リズムとメロディがからだに知識をインプットしていくのは確かにわかります。そういう需要、看護にもあるのでしょうか。……番匠

◎編集室ツイッター
<http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

看護教育 第58巻 第5号 2017年5月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2017, Printed in Japan

(1部) 定価：本体1,500円＋税

2017年・年間購読料(増大号を含む12冊)：冊子版15,540円、冊子＋電子版／個人18,540円、電子版／個人15,540円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・早田

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY 〓出版者著作権管理機構 委託出版物〓

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/17/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

「看護教育」は、株式会社医学書院の登録商標です。

Vol.58 No.4

2017 年 4 月

特集

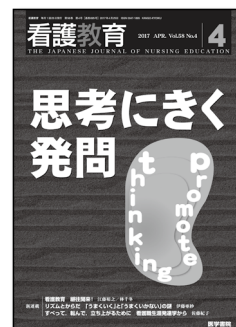
思考にきく発問

「発問」は、看護教員養成講習会などでは頻出のテーマです。教育のうえで重要だ、と認識されていることかと思えます。先生方は、学んでほしいことを伝えるために、日々発問を工夫、実践されているのでしょうか。とはいえ、教員の思い通りにはいかないのが世の常。学んでほしいことはたくさんあるのに、どのように発問すれば自分の思う教育ができるのか、発問のハウツーはないのか、という悩みのお声も多く耳にします。看護基礎教育は、専門職業養成であり、国家試験もあることから、教員が「教えずにはいけない」と思っている内容が過密です。発問をして返事が早くほしいのに、なかなか学生たちから反応がこないとなると、発問の方法が間違っているのではないかと不安にもなります。

しかし、もしかすると、こうした悩みは「発問」についての誤解が原因になっているのかもしれない。発問は、教員が教えたいことを伝えるツールではなく、「学生の思考力」を養うためのもの。主役はあくまで学生の思考です。講義や演習、実習と、それぞれの場面で、それぞれの学生が何を考えているか、その思考を注意深く聞き、発問をすることが、学生のそれからの思考にも効いてくる、と考えます。

今特集では、「発問」とはどういうものかを概説し、発問をつくる前提として必要な思考の転換から、看護教育の現場にそくして、その必要性和実践例をご紹介します。

- 「発問」づくりの大前提—真に思考を促すための、学習者観の問い直し……………藤江康彦
- 実践的思考力を育てるための「発問」……………池西静江
- 効果的な発問例について
生活的概念から科学的概念へつなぐ発問……………池西静江
グループワークを促進する発問……………石束佳子
シミュレーション教育における問答型の発問……………阿形奈津子
- 経験型実習教育に欠かせない発問の力——オープンリード、リフレクション、Iメッセージ……………安酸史子



Vol.58 No.3

2017 年 3 月

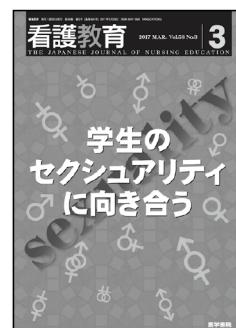
特集

学生のセクシュアリティに向き合う

看護は、あまたの職業のなかでもとりわけ身体接触の多い仕事です。他人の体にさわるとき、たとえそれが仕事であっても、「恥ずかしさ」は消えるわけではありません。ですので、本来であれば、その「恥ずかしさ」をふまえたうえでの基礎教育が求められますが、現実的にはどうでしょうか。患者さんの「恥ずかしさ」には視線が向けられていても、学生自身の「恥ずかしさ」は後回しにされていないでしょうか。「恥ずかしさ」を考慮して、接触がある演習は同性同士で行うようにしている」と聞くことが多いですが、それでは現場に出ていきなり未経験の身体接触をするということになります。性的マイノリティの潜在可能性を考えれば、単純な「同性同士」ということ自体が意味をなしません。配慮しているようで、実は学生のセクシュアリティについて考えることをスルーしているとも考えられます。

今回の特集では、身体接触と「恥ずかしさ」という視点を例に、いまだ十分考慮されているとは言えない学生のセクシュアリティに配慮した教育の方策について、特にマイノリティ側からの意見を中心に提案します。セクシュアリティそのものについてですら、まだまだ正面きって論じられることが少ないですが、患者さんのことを考えるその前に、教員は学生のことを考えていただきたいと思います。基礎教育の段階で自らのセクシュアリティに向き合う経験は、必ず臨床現場で役に立つはずなので

- 看護教員はセクシュアリティをどこまで意識しているか……………齋藤益子
- 教育においてセクシュアリティをどう実感すべきか——身体接触の視点から考える……………松崎政代
- 現場に出る前にセクシュアリティの視点の確立を……………平田研人
- 性的マイノリティの存在を意識した看護教育を望む……………浅沼智也
- 医療体制そのものに性の多様性をもたせよう！——意識改革より制度改革を……………沼崎一郎



[2017年2月号(Vol.58 No.2)]

キャリアを支援する赤十字看護専門学校教員ラダー

[2016年11月号(Vol.57 No.11)]

使える「患者役」になろう！

[2017年1月号(Vol.58 No.1)]

教える力を養うための継続研修を

[2016年10月号(Vol.57 No.10)]

「病態関連図」をおもしろく！

[2016年12月号(Vol.57 No.12)]

身体知をリベラルアーツに

[2016年9月号(Vol.57 No.9)]

さあ、臨床判断モデル

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2015 年 3 月号 (Vol. 56, No. 3) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2015 年 4 月号 (Vol. 56, No. 4) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願ひします。